

## 第9回あわら市子ども・子育て会議録

- 1 日時：平成29年2月21日（火）19時30分～21時15分
- 2 場所：あわら市役所 203会議室
- 3 出席者
  - (1) 委員  
森俊之委員（会長）、浅野壽恵委員（副会長）、五十嵐美根子委員、  
竹内浩美委員、久保敏江委員、野村等委員、木谷眞知子委員  
先川原八千代委員、江戸晶子委員  
欠席者 伊藤敏郎委員、坪田都是委員
  - (2) 事務局  
《子育て支援課》  
大代典子課長、井口清美課長補佐、正山裕貴主事、井上堯之主事
- 4 議題
  - (1) こども園の定員変更について
  - (2) 平成28～29年度 各認定こども園定員及び入園児数について
  - (3) 子ども・子育て支援各事業の平成27年度実績及び平成28年度進捗状況
  - (4) 子ども・子育て支援アンケート集計結果について
- 5 決定事項  
こども園の定員変更について承認を得た。（資料1）

【単位：人】

定員数	園名	変更前	変更後	増減
芦原地区	芦原こども園	158	148	10
	敬愛こども園	35	65	+30
金津地区	妙安寺こども園	105	85	20

来年度は子ども・子育て支援事業計画（平成27～31年度）の中間年度であり、こども園定員の中間見直し等を行う。

### 会議の経過

- 事務局 （開会あいさつ）  
（会議の趣旨について説明）

～会長及び副会長の選任～

事務局 あわら市子ども・子育て会議条例第4条により会長及び副会長を選任いたします。規定では互選により定めとなっておりますが、いかがいたしましょうか。

木谷委員 (事務局一任の声)

事務局 会長に仁愛大学の森教授、副会長に主任児童委員の浅野様をお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。

委員全員 (拍手)

会長、副会長 (選任挨拶)

事務局 ここからは規定により、森会長に議事進行をお願いいたします。

議長(会長) 議題に従い、議題 こども園の定員変更について、事務局より説明してください。

事務局 【資料1及び資料1-別紙に基づき説明】

議長 ご意見・ご質問等はありませんか。

竹内委員 市内のこども園を自由に選んで通わせることはできるのか。

事務局 可能ですが、住所がある小学校区内に属する園を希望している人を優先して入園させることになっています。

副会長 定員は園の希望に基づいて決めているのか。

事務局 はい、そうです。

野村委員 白藤こども園について、定員を超えているが問題ないのか。

事務局 児童福祉法に定める保育面積1平米あたりの児童数は超えていないが、この状況が長く続くと何らかの対策が必要になってくると考えています。

議長 定員には園の希望が反映されているとのことだが、ひとつのこども園の定員変更に伴って増減する他のこども園は、定員変更について事情を理解しているのか。

事務局 はい。

議長 他に質問も無いようなので、こども園定員変更については審議した結果、これを承認する。

続きまして、議題 平成28～29年度各認定こども園定員及び入園児数について、事務局より説明してください。

事務局 【資料1-別紙に基づき説明】

議長 ご意見・ご質問等はありませんか。

副会長 年齢によって充足率が100%を大きく超えている園が見られるが、子どもの数に応じて保育士や保育場所の確保はできているのか。

- 事務局 児童に対する保育士数は毎月の園からの報告書で、保育面積(場所)については、毎年5月に国が実施する学校基本調査で児童福祉法の基準に則しているかを確認しています。  
近年はこどもの数が減少しており、現在充足率100%を超えるところでも近い将来、定員割れを危惧している状況です。定員数と児童数に大きい開きが生じているところについては、平成29年度に見直しを行います。
- 木谷委員 保育士の確保は努力しているが、特に若い人材の獲得が難しい。今のところ何とか運営できている。
- 五十嵐委員 0歳児は途中入園がほとんどで、年度途中で確保する、もしくは年度初めには余っている状態でスタートする場合もあり、運営の厳しさを感じている。
- 議長 あわら市に限らず、県内でも同じような状況であると聞く。引き続き保育士確保に尽力願いたい。  
続きまして、議題 子ども・子育て支援各事業の平成27年度実績及び平成28年度進捗状況について、事務局より説明してください。
- 事務局 【資料2に基づき説明】
- 議長 ご意見・ご質問等はありませんか。
- 野村委員 延長保育事業について、利用人数が近年減ってきているのはなぜか。
- 木谷委員 利用人数そのものが減ったことと平成27年度に認定こども園に移行した際、延長料金徴収を徹底すると呼びかけたことから、保護者の意識が変わったのではないか。
- 竹内委員 すみずみ子育て支援事業は、事前予約が必要か。
- 事務局 登録後の利用が原則ですが、緊急の場合は柔軟に対応するようにしています。
- 先川原委員 平成27年度実績に比べ平成28年度見込が多く感じる。
- 事務局 第3子が無料で利用できることや、土日祝日にも利用できること等が要因だと考えています。
- 副会長 保護者自身に保育させるのが、こどもにとっても一番いいだろう。利用基準を厳しくするなど対策はできないか。
- 事務局 利用時間に制限を設けており、それを超えて利用しようとしている人は今のところいませんが、今後何らかの対策が必要だと考えています。
- 議長 子育て短期支援事業について、実績・見込ともに0人とあるが、

利用相談はあるのか？

事務局 ありますが、費用もそれなりに掛かる上、受入可能な施設で一番近いところが越前市ということで、利用を控える方がほとんどです。また、緊急の場合は、児童相談所(無料)を利用していると考えます。

議長 他に何かありませんか。  
続きまして、議題 子ども・子育て支援アンケート集計結果について、事務局より説明してください。

事務局 【資料3に基づき説明】

議長 ご意見・ご質問等はありませんか。

先川原委員 経済的支援の充実を希望する方が多い結果となったが、これからどういった支援をしていくのか。

事務局 医療費の窓口無料化について、平成30年度4月より、現在の償還払いから現物給付に制度移行する予定です。ただし、小学校就学から中学校修了までの児童について発生する自己負担金の撤廃については検討中です。

次に、保育料(こども園料)の見直しについて、県内9市で比較すると、当市の料金設定は決して高くないと考えています。加えて、第2子は半額、第3子・5歳児は無料となっています。  
そして、放課後子どもクラブ利用料は平成29年度から安くなる予定です。

五十嵐委員 子育て世代包括支援センターこあらっこについて周知が進んでいないように思う。

事務局 子育てガイドブックを作成・配布予定であり、施策と併せて施設の周知に努めます。

先川原委員 市外から転入してきた方にも配布できたらいい。  
また、子育て支援センター便りは、センターやこども園に行ってみるしかないのか？

事務局 市広報でご覧いただけます。4月号からはこあらっこに関する記事も毎月掲載予定です。

先川原委員 今の時代だとスマホで簡単に見れるようになったらいい。

議長 周知方法を検討して、積極的に情報発信に努めてほしい。  
その他として、事務局から何かありませんか。

事務局 平成29年度は9月と2月に計2回会議を行う。

議長 これをもちまして、第9回子ども・子育て会議を閉会します。  
ありがとうございました。